

第7回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年11月16日(金)午後3時～同5時5分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、
恵比須繁之、宮崎 隆、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 伊藤公一
- 日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
- 欠席者 <副 会 長> 井出吉信
<常任理事> 栗原英見

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告(平成19年10月15日～11月15日)
- 第6回常任理事会会議録(平成19年10月15日開催)
- 第3回理事会会議録(平成19年10月15日開催)

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 第21回日本歯科医学会総会関係報告（平成19年10月15日～11月15日）
- 学術プログラム企画・編成に伴う会場使用計画表

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

- 学会会計収支計算書（平成19年4月1日～平成19年10月31日）
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書
(平成19年4月1日～平成19年10月31日)

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

- ① 「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等
- ② 「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記両部会でとりまとめた報告書については、11月14日付を以って厚生労働省への提出がなされた旨、報告がなされた。

③ 歯科診療ガイドラインの作成

江藤会長から、標記重点計画について、厚生労働省内に「歯科診療所における歯科保健医療の標準化のあり方等に関する検討会」が設置されることを受け（12月上旬予定）、本学会内に「歯科診療問題調査研究プロジェクト会議」を設置し（1月予定）、歯科診療ガイドラインの作成に着手する旨、報告がなされた。

④ 「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会の運営等

黒崎副会長から、標記検討会および同検討会のワーキンググループである「総合的な口腔管理に関する検討会（WG）」ならびに「口腔機能の総合的評価と管理方法に関する検討会（WG）」におけるこれまでの検討経過について説明がなされた。

また、同検討会でとりまとめた報告書については、各ワーキンググループより提出された最終案に微調整を加えた上で、近々に厚生労働省に提出予定である旨、報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

住友総務理事から、標記重点計画に関連し、国民向けの歯科シンポジウムの実施に向けた準備状況が報告された。

(3) 学会機構改革の推進

江藤会長から、標記重点計画について、専門分科会資格審査委員会より提出された提言を具体的な機構改革案として、次回本常任理事会の議に付すべく検討を進めている旨、報告がなされた。

(4) 専門医制度の確立

住友総務理事から、標記重点計画について、専門医制協議会の進捗状況および今後の運営予定について報告がなされた。

(5) 国際交流の推進

▶ 第95回 FDI ドバイ大会報告

住友総務理事から、10月24日から27日（派遣期間：10月19日～27日）まで、ドバイ（アラブ首長国連邦）にて開催された第95回 FDI ドバイ大会について、資料に基づき報告がなされた。

5) 選挙管理委員会委員の交替について

住友総務理事から、日歯役員の変替に伴う標記管理委員会委員の変替について、資料に基づき報告がなされた。

□新委員：浅野正樹（日歯常務理事）

6) 学術研究委員会委員の交替について

住友総務理事から、日本口腔外科学会の役員変替に伴う標記委員会委員の変替について、資料に基づき報告がなされた。

□新委員：高戸 毅（東京大学大学院医学系研究科教授）

7) 平成20年度厚生労働科学研究補助金研究課題等の公募について

住友総務理事から、標記研究課題等の公募について資料を基に報告がなされ、専門分科会ならびに認定分科会へ情報提供することとした。

8) 会長報告

江藤会長から、日歯第8回理事会における報告事項および協議事項について報告がなされた。

9) その他

なし。

4. 協 議

1) 平成 20 年度事業計画について

住友総務理事から、平成 20 年度事業計画について諮られ、原案を基本的に全会承認し、次回常任理事会で継続審議することとした。

2) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

なし。

(2) 歯科医療技術革新の推進

なし。

(3) 学会機構改革の推進

なし。

(4) 専門医制度の確立

なし。

(5) 国際交流の推進

なし。

3) 事業計画の推進

(1) 第22回日本歯科医学会学術大会の開催について

住友総務理事から、標記学術大会の開催について諮られ、主幹校の選考にあたっては、主幹希望校にその旨を表明してもらう手挙げ方式を採用し、応募のあった中から主幹校を選考することが提案され、これを全会承認した。

なお、主幹校の募集については29歯科大学（歯学部）に通知、応募締切を12月10日（月）とし、次回常任理事会において協議することとした。

(2) 学会顕彰審議会答申の取り扱いについて

住友総務理事から、11月5日付の学会顕彰審議会（中原 泉委員長）からの答申の取り扱いについて諮られ、同審議会の答申を尊重し、原案どおり7名の授賞者を次のとおり決定した。

□研究部門

石 橋 克 禮 （鶴見大学教授）
下 岡 正 八 （日本歯科大学教授）
石 川 烈 （東京医科歯科大学名誉教授）

□教育部門

村 山 洋 二 （岡山大学名誉教授）
木 村 光 孝 （九州歯科大学教授）
中 村 正 明 （大阪歯科大学教授）

□地域歯科医療部門

渡 口 進 一 （沖縄県歯科医師会会員）

(3) 平成19年度委託研究課題について

佐藤常任理事から、第2回学術研究委員会の審議結果に基づく、標記委託研究課題の選考について諮られ、原案どおり次の課題を承認した。

□咀嚼能力評価の標準化に関する探索的研究

[研究代表者] 市川哲雄（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面補綴学分野）

(4) 平成 19 年度総合的研究推進費課題について

佐藤常任理事から、第 2 回学術研究委員会の審議結果に基づく、標記研究課題の選考について諮られ、原案どおり次の 4 課題を承認した。

①う蝕・歯周病予防のための抗菌性コーティング材の開発

[研究代表者] 吉田靖弘（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
生体材料学分野）

②精神障害者の口腔環境・機能の実態

－抗精神病薬はどこまで影響するか？－

[研究代表者] 向井美恵（昭和大学歯学部 口腔衛生学講座）

③生体工学を応用した三叉神経痛治療のための薬物導入法の開発

[研究代表者] 松香芳三（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
顎口腔機能制御学分野）

④唾液検査がもたらす新しいう蝕予防

[研究代表者] 石原容子（株式会社ジーシー 研究所）

(5) 第 24 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」について

佐藤常任理事から、第 2 回学術研究委員会の審議結果に基づく、標記「集い」の企画及び日程（平成20年1月12日開催）について諮られ、原案どおり全会承認した。

なお、同「集い」は41題の応募の中から10題を選考したものである。

(6) 平成 20 年度学術講演会の企画について

土屋常任理事より、標記講演会の企画について諮られ、協議の結果、原案どおり全会承認した。

(7) 学際領域問題検討委員会の設置について

住友総務理事から、標記委員会の設置について諮られ、主に構成メンバーについての意見交換がなされた後、原案どおり全会承認した。

(8) 医道審議会死体解剖資格審査分科会臨時委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦について諮られ、協議の結果、現在同委員に就任している諏訪文彦氏（大阪歯科大学教授）を引き続き推薦することが提案され、全会承認した。なお、この件に関してはすでに回答が済んでいることを確認した。

(9) 「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル策定委員会（仮称）」委員の推薦について

住友総務理事から、標記委員の推薦について諮られ、本学会より日本口腔衛生学会ならびに日本歯周病学会に推薦を依頼し、回答のあった次の2名を推薦することが提案され、これを全会承認した。

中垣晴男 氏（日本口腔衛生学会推薦）

角田正健 氏（日本歯周病学会推薦）

(10) 食育推進事業への学術支援依頼について

住友総務理事から、標記依頼に対する対応について諮られ、本学会としては、専門分科会および認定分科会と連携を図りながら、要請に応じてさまざまな形で標記事業を支援していくことが提案され、これを全会承認した。

(11) 日本歯科医史学会からの要望書について

住友総務理事から、標記要望書について諮られ、同要望書に記載の諸課題について、より具体的な企画の提示を求め、改めて本常任理事会で検討したい旨提案され、これを全会承認した。

(12) WHO口腔保健協力センター設立記念式典への後援について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：WHO口腔保健協力センター長 宮崎秀夫

(13) 日タイ歯科フォーラムへの後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：神奈川県立歯科大学 学長 梅本俊夫

- (14) 第4回東京医科歯科大学 歯科器材・薬品開発センター主催シンポジウムへの後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：東京医科歯科大学 歯科器材・薬品開発センター
センター長 田上順次

- (15) 「病院歯科」という新しい専門学会とその体制整備に向けた委員会の設置依頼について

江藤会長から、標記依頼について諮られ、今後、本学会として歯科医療体制における病院歯科のあり方を検討する必要がある場合は、対応を図りたい旨提案され、これを全会承認した。

- (16) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

4) その他

次回、第8回常任理事会を12月14日（金）午後2時から開催することを確認した。

5. 閉 会

住友総務理事から、閉会の辞が述べられた。